

第10回産業構造審議会製造産業分科会化学物質政策小委員会制度構築ワーキンググループ  
第2回中央環境審議会環境保健部会化学物質対策小委員会

議事次第

日 時 平成28年11月28日(月) 15:00～17:00

場 所 経済産業省本館17階 第1～3共用会議室

議 題

1. 新規化学物質の審査特例制度の合理化について
2. 有害性が非常に強い新規化学物質の管理について
3. 化審法におけるWSSD2020年目標に向けた検討の報告について
4. 今後の化学物質対策の在り方について

[ 配布資料 ]

- |           |  |
|-----------|--|
| 資料1       | 委員名簿   |
| 資料2 - 1   | 新規化学物質の審査特例制度の合理化について                                    |
| 資料2 - 2   | 特例制度の合理的運用に向けて(庄野委員提出資料)                                 |
| 資料3       | 有害性が非常に強い新規化学物質の管理について                                   |
| 資料4       | 化審法における2020年目標の具体化について                                   |
| 資料5       | 今後の化学物質対策の在り方について(骨子案)                                   |
| 参考資料1     | 現行の少量新規制度に関する売上、利益、付加価値の喪失額について                          |
| 参考資料2     | 第一種特定化学物質を環境中に1トン放出した場合のリスクの推計                           |
| 参考資料3 - 1 | 第二種特定化学物質を環境中に10トン放出した場合のリスクの推計<br>閉鎖系水域 (SAFECAS)       |
| 参考資料3 - 2 | 第二種特定化学物質を10トン環境中に放出した場合のリスク評価<br>水系非点源シナリオ(AIST-SHANEL) |
| 参考資料3 - 3 | 第二種特定化学物質を10トン環境中に放出した場合のリスク評価<br>大気系非点源シナリオ(PRAS-NITE)  |